

デュラカーム®

遮音壁用先端改良型減音装置

E-fX

リニューアル  
タイプ

E-fX2

高性能  
タイプ

製品紹介

「高い減音効果」に  
簡単に取り替え可能！  
安全性もアップ！

# E-fX

リニューアルタイプ

支柱延長タイプ

一体型差込タイプ

## 特長



### 高い減音効果!

- 減音効果試験で検証済み

→詳細は「減音効果」参照



### 安全性抜群!

- 耐衝撃性試験で検証済み
- 支柱から道路側への張り出しがない
- 落下防止ワイヤー内蔵で、通常の金属製遮音板と同等の信頼性

## 支柱延長タイプ



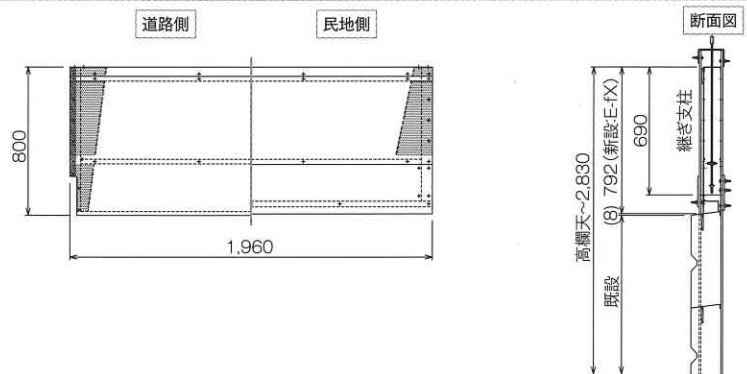
### 主要部材

デュラカーム®E-fX (支柱延長タイプ)  
サイズ:1,960×H800×D95mm

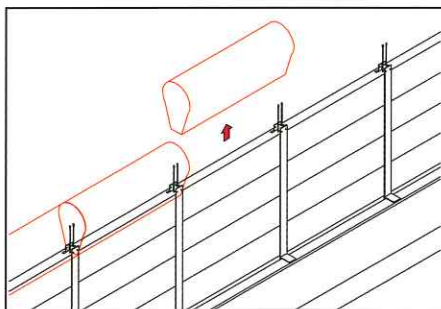
E-fX用落下防止索   延長支柱   天蓋

- 既存支柱を延長してE-fXを統一板と同じ方法で設置する。
- パネル全体を支柱に差込むため、施工が簡単で安全性も高い。
- 道路側からの施工が可能。

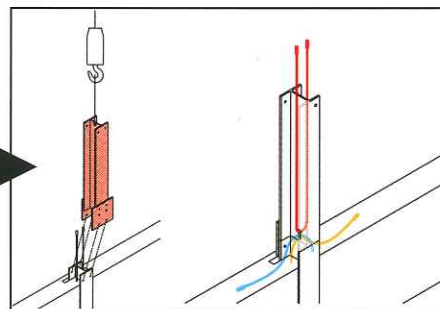
### 製品図



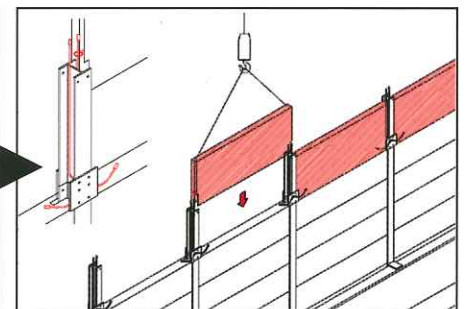
### 支柱延長タイプ 作業手順



既存吸音装置を撤去する。



延長支柱を設置し、落下防止索を通す。



デュラカーム®E-fX(一体型差込タイプ)を設置し、固定金具と天蓋で固定する。

## 安全性能試験

遮音壁の耐衝撃性試験(試験法902-2017)に準拠した試験を実施し安全性を確認した。



300kgの突起付鉄球を95cmの高さから落下させ、試験体(パネル)に衝突させる。

鉄球落下時衝撃エネルギー 2,793J

衝撃でパネルが支柱から脱落しないか確認する。

脱落した場合、落下防止ワイヤーで保持されるか確認する。

従来品をE-fXへ取替えるための、  
簡単かつ安全性も高い工法です。



### 工事が簡単!

- 通常の遮音板と同様にH鋼に落とし込む工法

特別な技術が不要

### メンテナンス性優秀!

- ライフサイクルコストが優れている
- 鳩などの侵入がなく、鳥害が防げる

### 一体型差込タイプ



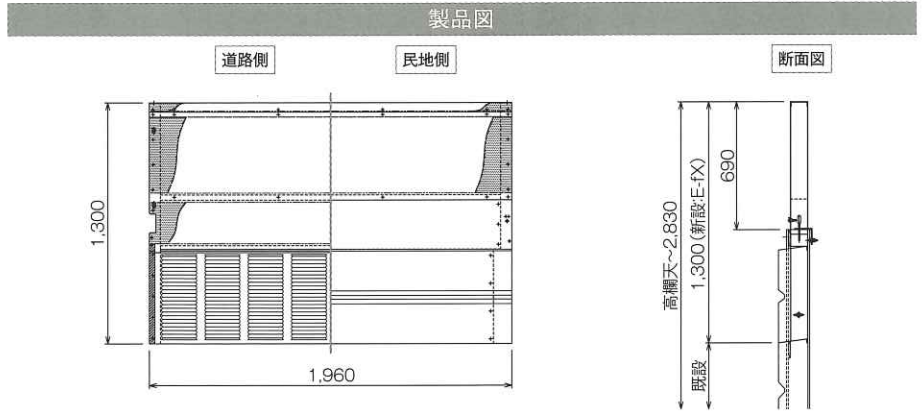
#### 主要部材

デュラカーム®E-fX (一体型差込タイプ)  
サイズ: 1,960×H1,300×D95mm

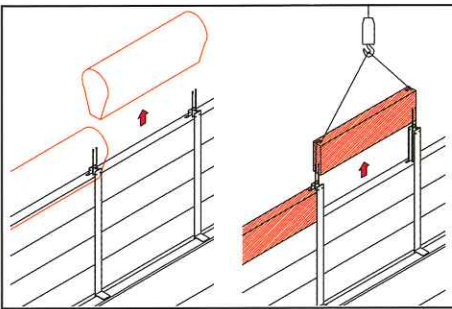
落下防止索定着金具

目地隠し板

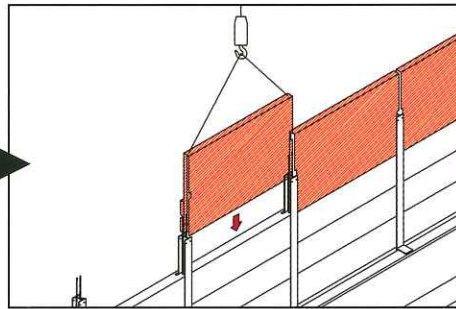
- 既存支柱をそのまま使用する。
- 「金属製遮音板とE-fXを一体化したパネル」を支柱に差込んで設置するため、施工が簡単。
- 安全性が高い。



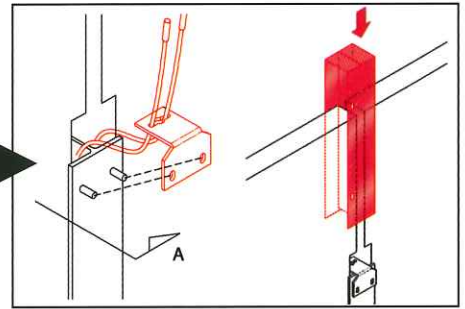
### 一体型差込タイプ 作業手順



既存吸音装置と最上段の吸音板を撤去する。



デュラカーム®E-fX (一体型差込タイプ) を設置する。



落下防止索定着金具 (定着金具) を設置後、目地隠し板を設置する。

### E-fX

リニューアルタイプ  
支柱延長タイプ

パネル脱落無し、  
延長支柱異常無し



### E-fX

リニューアルタイプ  
一体型差込タイプ

パネル脱落無し



# E-fX2

高性能タイプ

Aタイプ

Bタイプ

## 特長



### 減音効果さらにアップ!

- E-fXより高度方向で減音効果を高めた。減音効果試験で検証済み

→詳細は「減音効果」参照



### 安全性優秀!

- 落下防止ワイヤー内蔵で、通常の金属製遮音板と同等の信頼性
- 支柱から道路側への張り出しが少ない



### 工事が簡単!

- 通常の遮音板と同様にH鋼に落とし込む工法

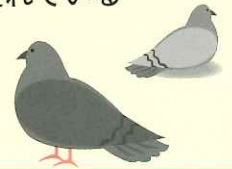


特別な技術が不要



### メンテナンス性優秀!

- ライフサイクルコストが優れている
- 構造上隙間が無いので、鳩などの侵入がなく、鳥害が防げる



### 安全性に優れた Aタイプ

支柱より道路側へ張出さないため、安全性が極めて高い。



民地側

### 遮音性能に優れた Bタイプ

道路側へ張出すのは支柱よりわずか約80mmと安全性を保ちつつ、Aタイプより高度方向への遮音性能を高めた。



道路側

民地側

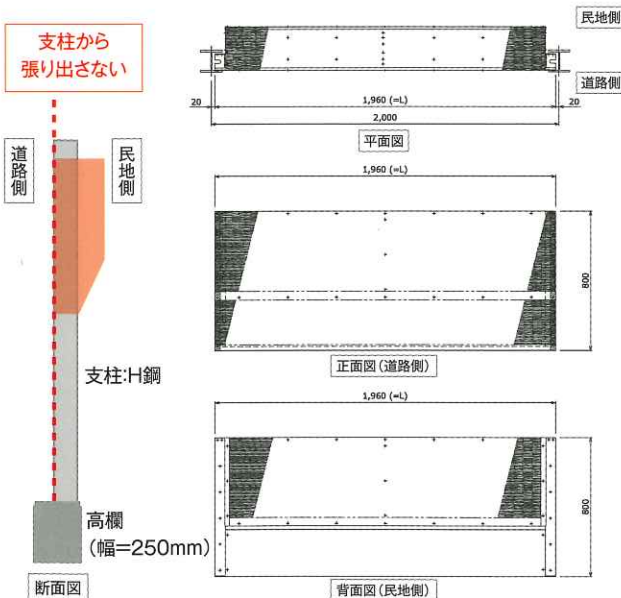
サイズ

1,960×H800×D250mm

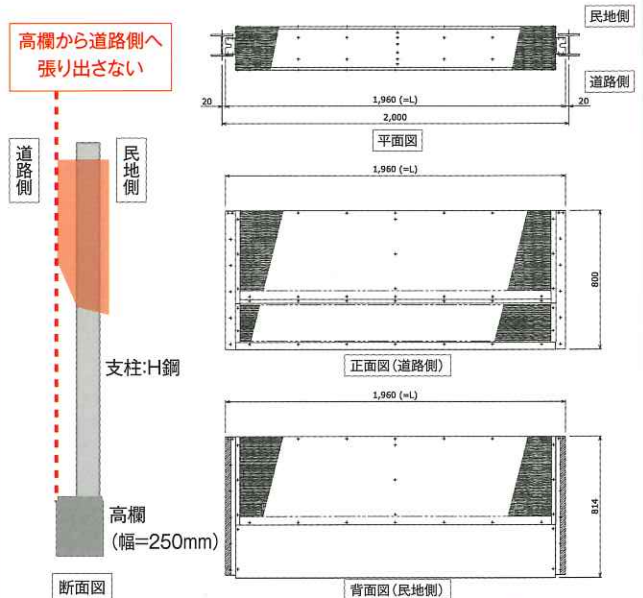
サイズ

1,960×H800×D250mm

製品図

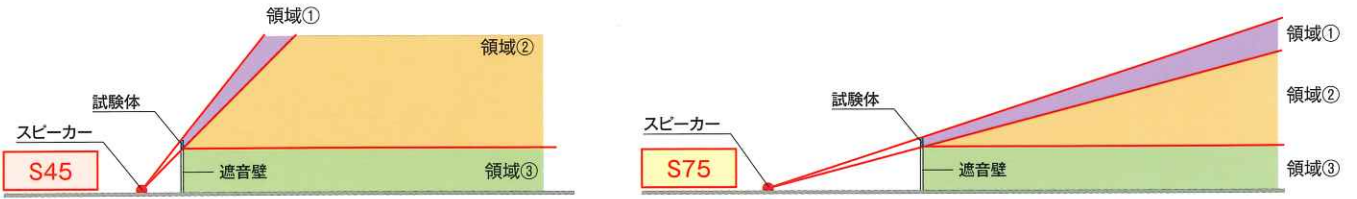


製品図

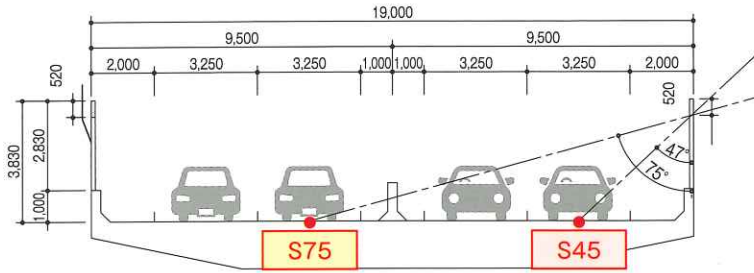


# 減音効果

## ● 受音領域



## ● 音源位置



### 受音領域①

開発目標領域

音源（スピーカー）と試験体上端を結んだ延長線（L1）と、音源と遮音壁上端部（試験体下端部）を結んだ延長線（L2）に囲まれた領域。この部分は音が試験体（減音装置）を通過する。

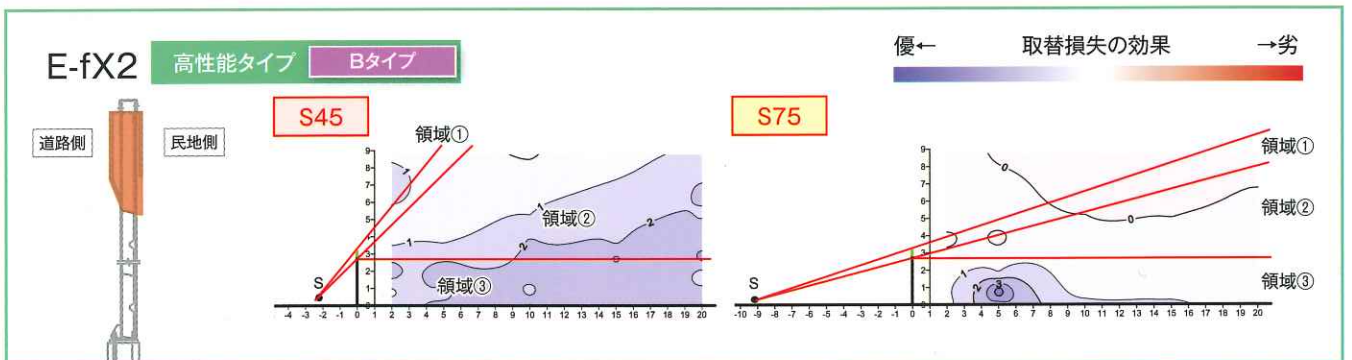
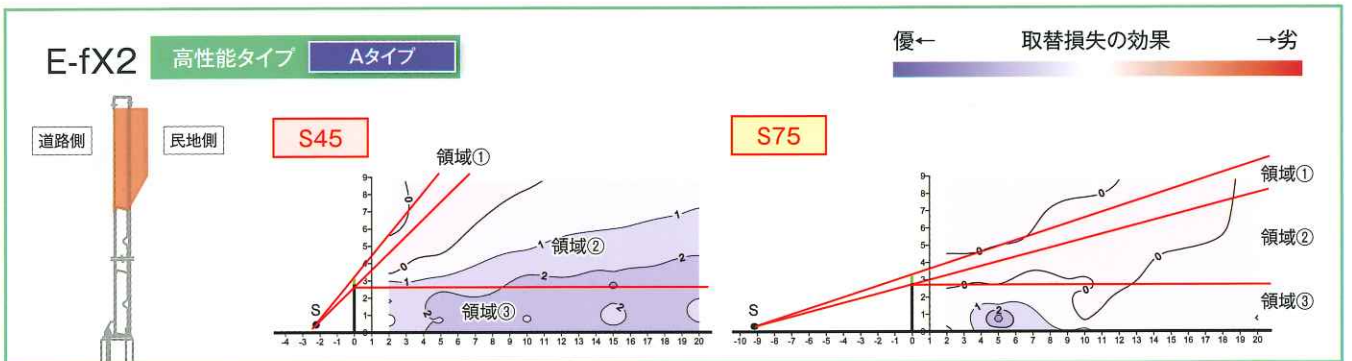
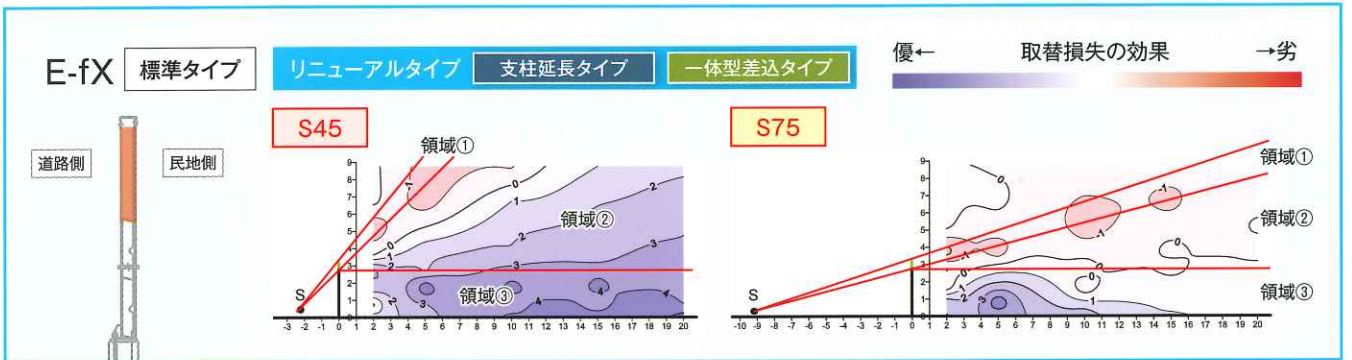
### 受音領域②

開発目標領域

音源と遮音壁上端部（試験体下端部）を結んだ延長線（L2）と遮音壁上端の高さの水平線（L3）に囲まれた遮音壁上部の領域

### 受音領域③

遮音壁上端の高さの水平線（L3）より下部の領域（遮音壁下部）



# 最高水準の道路<sup>みちも</sup>守りへ

## 阪神高速技術株式会社

〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル  
TEL:06-6110-7200(代表) FAX:06-6110-7201

<https://www.hex-eng.co.jp/>

## 日本環境アメニティ株式会社

(本 社) 〒108-0074 東京都港区高輪3-5-23 KDX高輪台ビル7階  
TEL:03-5421-7520 FAX:03-5421-7530

(大阪支社) 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-1-6 伊藤佑ビル大阪本町2階  
TEL:06-6252-7032 FAX:06-6252-7033

<https://www.nea-ltd.com/>